

令和3年度

# すくすくウォッチ

(大阪府小学生学力テスト)

結果概要

交野市教育委員会

# ① 調査概要

## 1 目的

子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実に身につける。

## 2 調査を実施した児童数

- 5年生 69,330人(交野市:10校 675人)
- 6年生 69,365人(交野市:10校 672人)

## 3 実施内容・実施日

- 実施内容 5年生 国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型問題)・アンケート  
6年生 わくわく問題(教科横断型問題)・アンケート
- 実施日 令和3年5月27日(木) ※全国学力・学習状況調査と同日

## 4 各教科・わくわく問題(教科横断型問題)及びアンケートについて

### ■ 各教科について

- 【国語】・言語能力・読解力の基盤となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題  
・文章に書かれている意味を正確に捉える力(リーディングスキル)をはかる問題
- 【算数】・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を問う問題
- 【理科】・理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことや、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を問う問題

### ■ わくわく問題(教科横断型問題)について ※5・6年生ともに同じ問題

- ・日常の活動や現代的な諸課題(SDGs、プログラミング的思考)等をテーマにした問題
- ・教科の枠を超えて文章やグラフ等の様々な資料を題材に、問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

### ■ アンケートについて

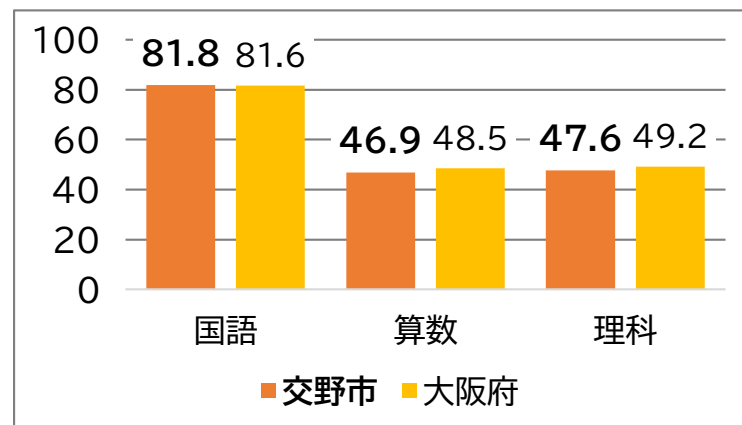
- ・これからの予測困難な社会を生き抜くために必要な、テスト等では測れない子どもの力を問う項目
- ・授業での活動、学級活動、家庭での状況、子どもの好奇心等を問う項目

## ② 教科等に関する調査の結果

### 平均正答率[%]

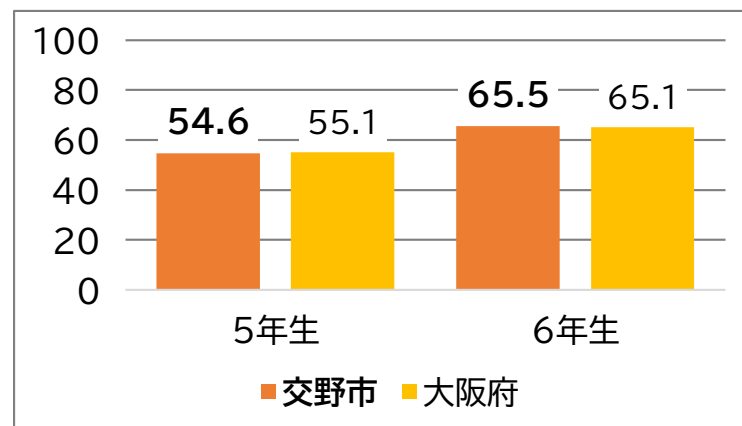
#### ■ 国語・算数・理科

	国語 (5年生)	算数 (5年生)	理科 (5年生)
問題数(問)	20	7	10
<b>交野市</b>	<b>81.8</b>	<b>46.9</b>	<b>47.6</b>
大阪府	81.6	48.5	49.2
大阪府との差	<b>+0.2</b>	<b>-1.6</b>	<b>-1.6</b>



#### ■ わくわく問題(教科横断型問題)※5・6年生ともに同じ問題

	わくわく問題 (5年生)	わくわく問題 (6年生)
問題数(問)	10	
<b>交野市</b>	<b>54.6</b>	<b>65.5</b>
大阪府	55.1	65.1
大阪府との差	<b>-0.5</b>	<b>+0.4</b>



- 国語の平均正答率は81.8%で、大阪府の平均正答率を0.2ポイント上回った。
- 算数、理科ともに大阪府の平均正答率を1.6ポイント下回った。
- わくわく問題については、5年生は府の平均を0.5ポイント下回り、6年生は0.4ポイント上回る結果となった。

### ③ 問題別調査結果

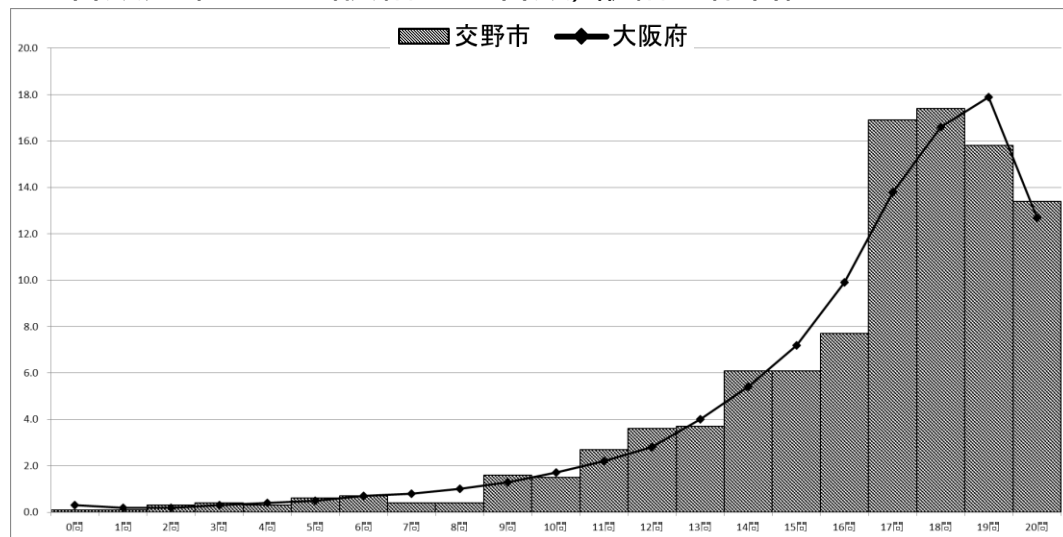
#### 国語(5年生)

※国語の問題(大阪府教育庁のHPより)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/40756/00395848/R3kokugo.pdf>



正答数分布グラフ(横軸：正答数, 縦軸：割合)



### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			交野市	大阪府	
全体			20	81.8	81.6
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	17	83.0	82.4
		(2)情報の扱い方に関する事項	1	77.4	80.8
		(3)我が国の言語文化に関する事項	2	73.5	75.5
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	—	—	—
		書くこと	5	77.3	75.4
		読むこと	—	—	—
評価の観点	知識・技能		20	81.8	81.6
	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと	—	—	—
		書くこと	5	77.3	75.4
		読むこと	—	—	—
主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	
問題形式	選択式	10	83.7	84.7	
	短答式	10	79.8	78.5	
	記述式	—	—	—	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

### ■ 課題の見られた問題

問題番号	正答率[%]		無解答率[%]		出題の意図
	交野市	大阪府	交野市	大阪府	
1	37.0	40.2	2.1	2.5	平仮名で書かれた文の意味を捉え、適切な既習漢字を使って書き表す
12(2)	77.4	80.8	8.2	6.4	示された文の構造や、情報と情報の関係を理解して文の内容を正しく捉え、別の表現の同義の文を選択する

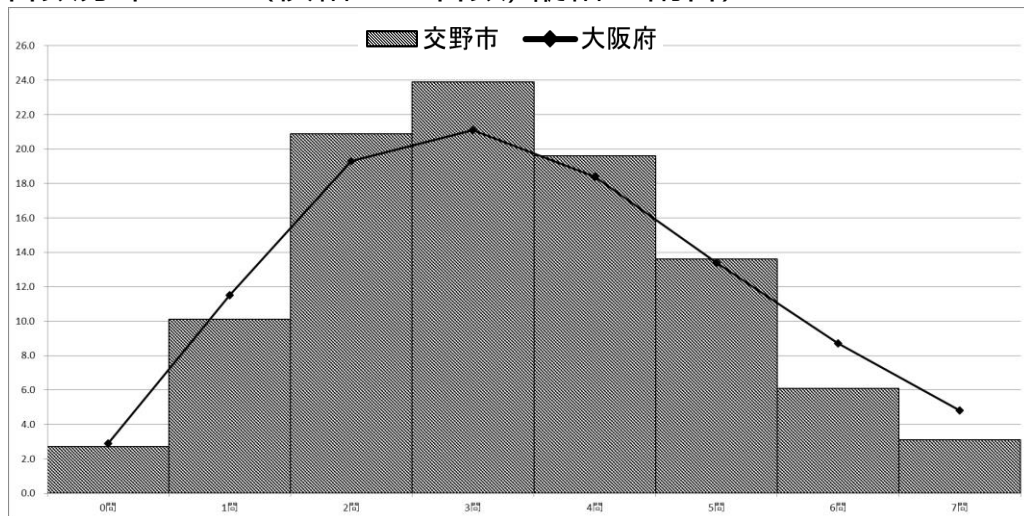
### ③ 問題別調査結果

#### 算数(5年生)

※算数の問題(大阪府教育庁のHPより)  
[https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/40756/00395848/R3\\_sannsuu.pdf](https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/40756/00395848/R3_sannsuu.pdf)



#### 正答数分布グラフ(横軸：正答数, 縦軸：割合)



#### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	平均正答率(%)	
			交野市	大阪府
	全体	7	46.9	48.5
学習指導要領 の領域	数と計算	3	44.5	43.5
	図形	2	30.8	36.3
	測定/変化と関係	2	56.0	56.8
	データの活用	1	39.5	43.4
評価の観点	知識・技能	5	54.2	55.1
	思考・判断・表現	2	28.7	32.0
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	2	42.4	45.6
	短答式	3	62.1	61.4
	記述式	2	28.7	32.0

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

#### ■ 課題の見られた問題

問題番号	正答率[%]		無解答率[%]		出題の意図
	交野市	大阪府	交野市	大阪府	
1(1)	29.5	36.6	0.4	0.5	長方形の縦と横の長さから、周りの長さを求める
1(3)	32.0	36.0	2.4	3.6	辺の長さが2倍になったときの面積の変化を理解し、長方形の辺の長さが2倍になった時の面積が元の面積に比べて何倍になっているかを書く



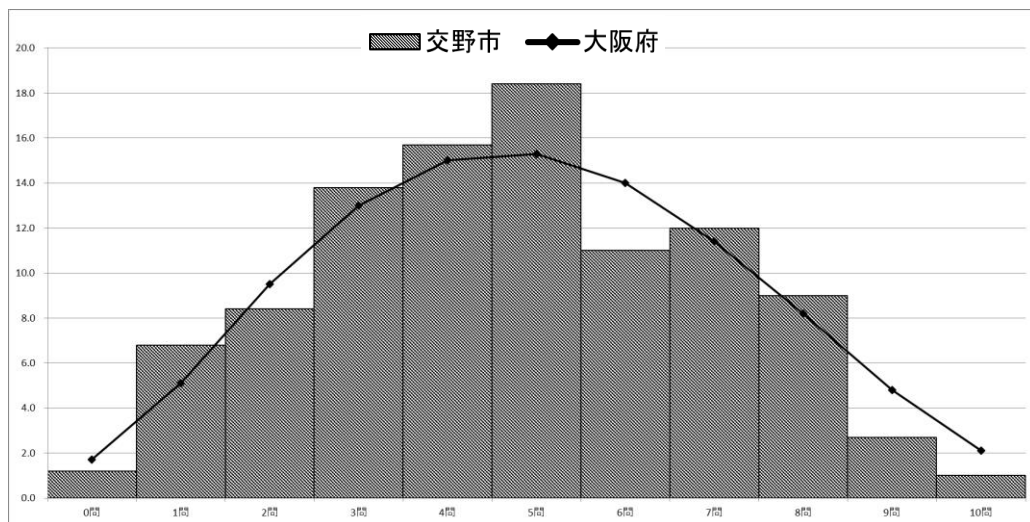
### ③ 問題別調査結果

※理科の問題(大阪府教育庁のHPより)  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/40756/00395848/R3rika.pdf>



#### 理科(5年生)

正答数分布グラフ(横軸：正答数, 縦軸：割合)



#### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	平均正答率(%)	
			交野市	大阪府
	全体	10	47.6	49.2
学習指導要領 の領域	物質	1	60.4	61.3
	エネルギー	4	47.7	50.0
	生命	—	—	—
	地球	5	44.9	46.1
評価の観点	知識・技能	6	52.3	54.2
	思考・判断・表現	4	40.6	41.7
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	7	49.4	51.5
	短答式	2	51.3	52.0
	記述式	1	27.9	27.2

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

#### ■ 課題の見られた問題

問題番号	正答率[%]		無解答率[%]		出題の意図
	交野市	大阪府	交野市	大阪府	
1(3)	48.6	54.1	0.7	0.4	日なたの地面の温度の測り方を理解し、正しい測り方を表した図を選ぶ
2(3)	56.0	59.7	1.3	1.2	乾電池と豆電球の回路において、乾電池の数やつなぎ方を変えたときの豆電球の明るさの変化について理解し、乾電池を1個つないだ回路に比べて豆電球の明るさがどうなるのかを述べた文として適切なものを選ぶ

### ③ 問題別調査結果

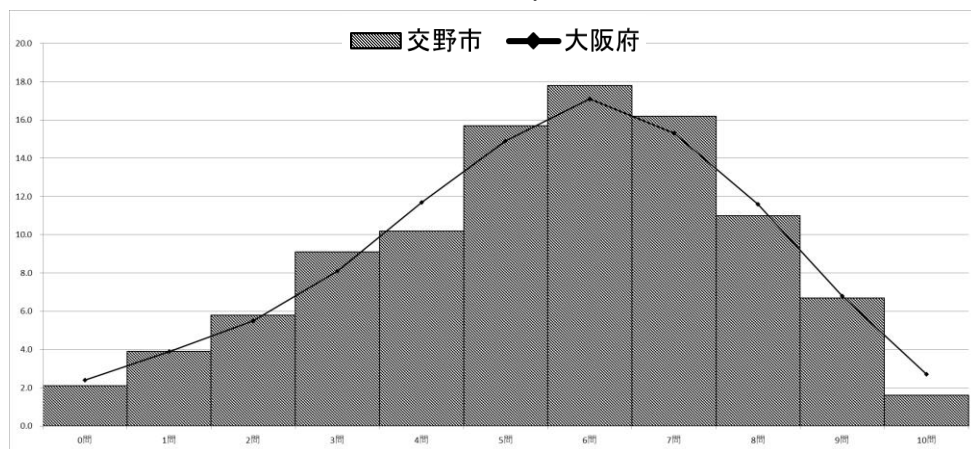
#### わくわく問題(5・6年生)

※わくわく問題(大阪府教育庁のHPより)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/40756/00395848/R3/wakuwaku.pdf>



正答数分布グラフ(横軸：正答数, 縦軸：割合)



### 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			交野市	大阪府
	全体	10	60.1	60.1
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等に示された内容を関連付けて、正しくとらえる。	3	47.6	48.1
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理解し、自分の考えを持ち伝える。	5	66.6	67.4
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、新たな課題となる事がらを考える。	2	60.0	61.0
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、順序良く、論理的に考える。(プログラミング的思考)	1	27.4	27.9
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えようとする。	2	82.3	80.2
問題を とらえる	文章から読み取る	3	77.3	76.3
	会話から読み取る	4	57.0	57.0
	図や表から読み取る	6	52.6	53.4
伝える	資料の情報を整理して伝える	3	46.1	45.9
	自身で考えたことを伝える	7	71.1	71.0
	理由や根拠を明確にして伝える	2	53.7	54.0
問題形式	選択	1	39.2	41.2
	図表	3	47.1	46.0
	記述	6	70.1	70.3

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

#### ■ 課題の見られた問題

問題番号	正答率[%]		無解答率[%]		出題の意図
	交野市	大阪府	交野市	大阪府	
1(2)	58.6	60.7	2.9	3.1	食品ロス問題を題材として扱う問題を考えることを通して、社会の諸問題について興味関心を持ち、自ら課題を見出し、調べたり、話し合ったりして解決策を考えようとする態度、技能を育てることを目的とした問題
3(1)	46.5	48.3	4.6	5.4	身近な課題である熱中症を題材に、児童が大阪の人へ注意を呼び掛けるポスター作りをするという疑似体験ができる設定としている

## ④ アンケート結果

※数値は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」等、肯定的な回答の割合[%]

### 児童アンケート(5・6年生)

#### ■ 良好な結果が得られた項目

質問番号	質問事項	交野市	大阪府	府との差
3	頑張りやである	63.7	62.8	+0.9
30	新しいことに挑戦することは好きだ	75.8	74.4	+1.4
36	はっきりした明快な答えが出るまでずっと考える	59.5	57.7	+1.8
59	わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットで調べている	71.5	68.6	+2.9
67	話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている	61.5	59.3	+2.3

#### ■ 課題の見られた項目

質問番号	質問事項	交野市	大阪府	府との差
16	人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する	60.2	65.2	-5.0
17	人の話を聞くとときは、その人が言いたいことは何かを考えながら聞く	65.6	69.9	-4.3
18	常に相手の気持ちを考えるようにしている	65.1	68.5	-3.4
22	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	60.5	65.1	-4.6

- ・ 新しいことに進んで取り組んだり、自分の考えを深めたり広げたりする項目において、府の平均を上回った。
- ・ 人の話を聞いたり、相手の気持ちを考えたり、他者を理解する項目において、府の平均を下回った。



#### ④ アンケート結果

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合[%]

#### 児童アンケート(5・6年生)と教員アンケートの比較

質問番号		質問事項	回答
児童	43	先生は、あなたのよいところを認めている	88.1
教員	1	児童一人ひとりのよいところを認めたり、励ましたりする言葉かけをしている	93.8
児童	51	あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う	85.4
教員	4	困っているときは互いに助け合う具体的な指導をしている	90.7
児童	52	あなたの学級は、日直や係の仕事を頑張っている	87.3
教員	6	学級の中で児童一人ひとりが活躍できる機会を作っている	91.7
児童	60	文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる	69.1
教員	16	文章を読むとき、大事なところを考えながら読むように指導している	91.8

質問番号		質問事項	回答
児童	65	話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている	87.9
教員	18	話し合いでは、友だちの意見を最後まで聞くように指導している	97.9
児童	68	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている	69.3
教員	22	授業で学んだことを、普段の生活にいかすように指導している	91.8
児童	57	その時間のめあてを意識して学習している	77.5
教員	23	授業のめあてを示していますか	95.8
児童	62	自分の考えをノート等にも書いている	78.6
教員	33	児童が自分の考えをノート等にも書く時間を設けていますか	94.8

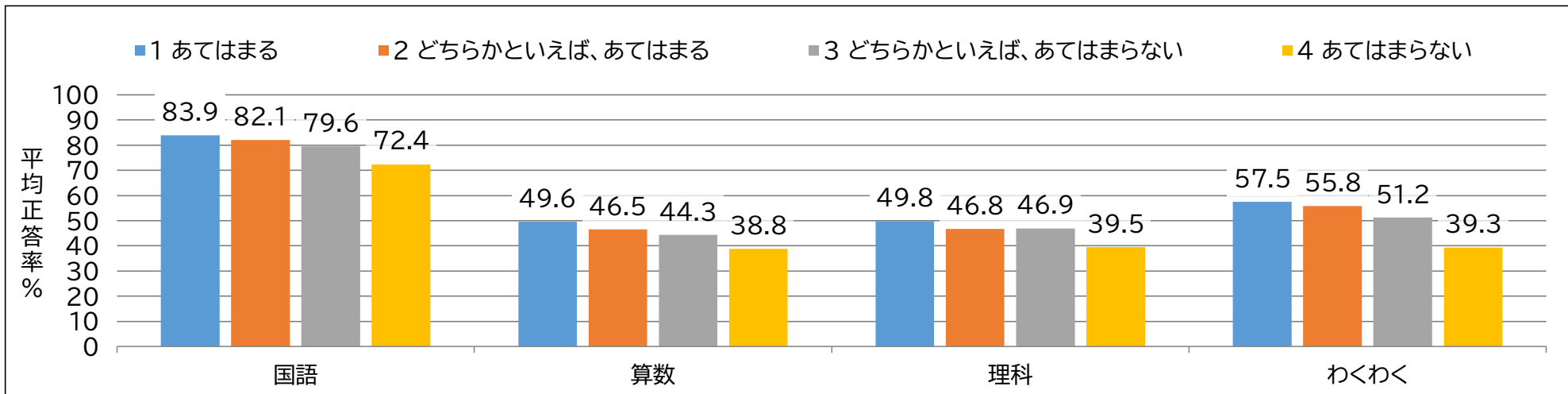
多くの項目で概ね良好な結果が得られたものの、児童と教員で認識差が大きい項目があった。

## ⑤ クロス集計

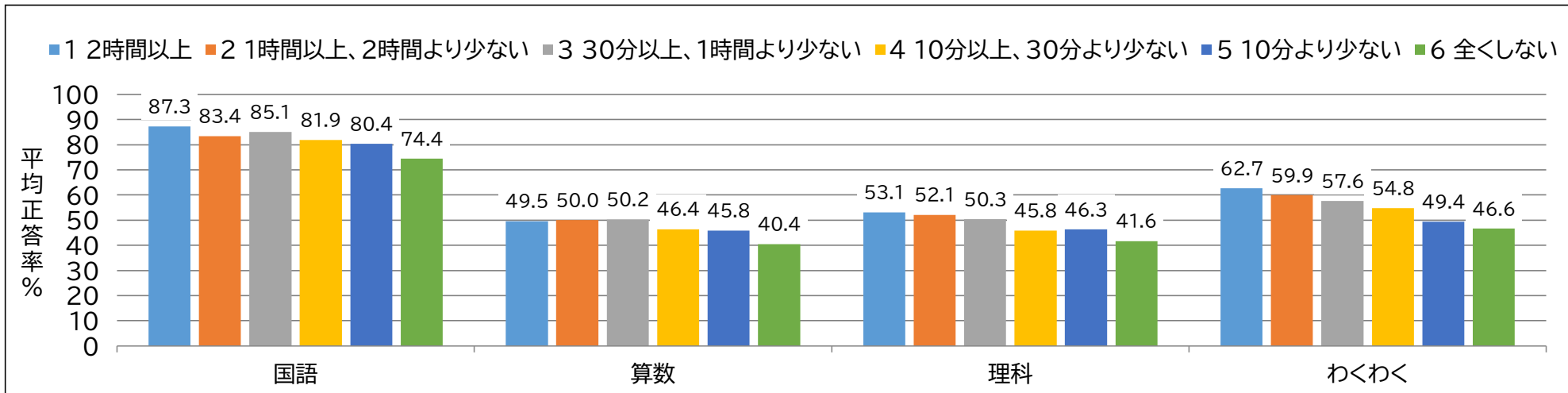
### 児童アンケート(5年生)×3教科・わくわく問題の平均正答率

- 「自分の考えをノート等にも書いている」と肯定的に回答した児童の平均正答率は、比較的高かった。
- 読書の時間が長い児童ほど、平均正答率が比較的高くなる傾向が見られた。

#### ■ 質問62 自分の考えをノート等にも書いている



#### ■ 質問90 ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか

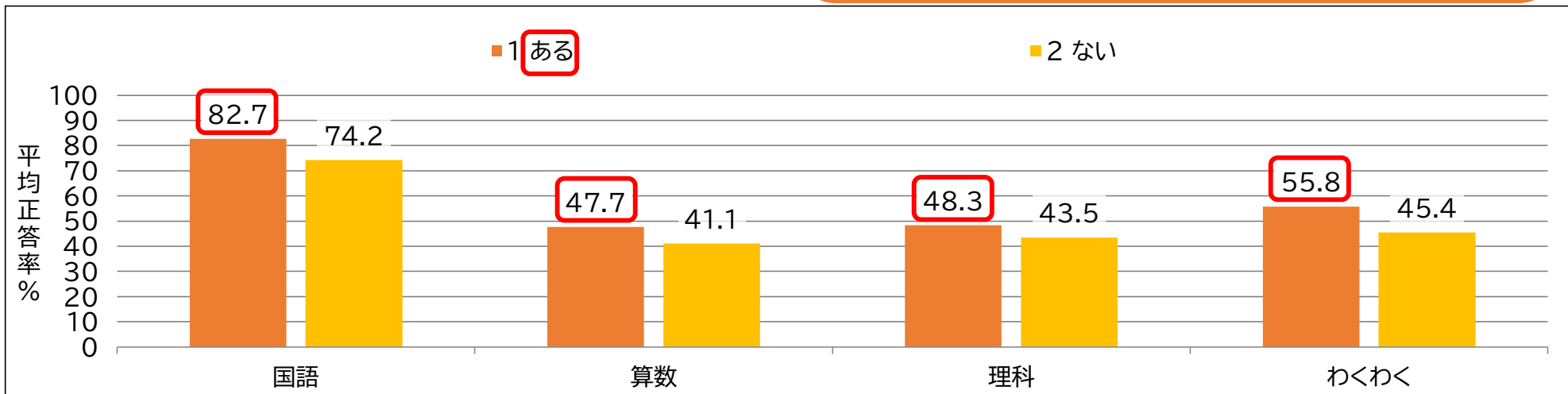


## ⑤ クロス集計

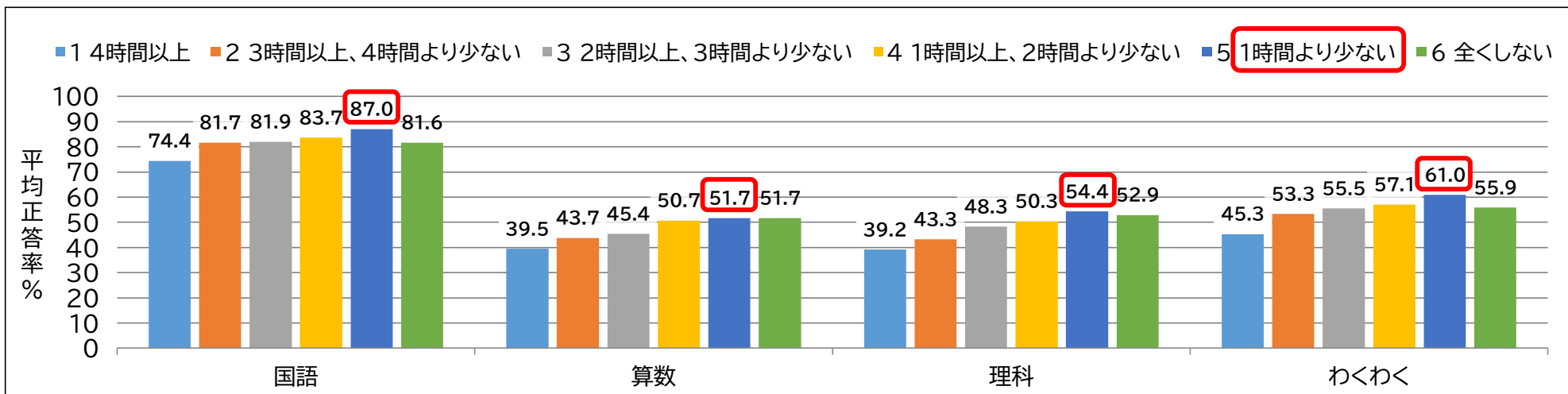
児童アンケート(5年生)×3教科・わくわく問題の平均正答率

- 「家の中にホッとする場所がある」と回答した児童の平均正答率は比較的高かった。
- 動画、ゲーム、SNS等の利用時間が「1時間より少ない」と回答した児童は、全ての教科等において平均正答率が最も高かった。

### ■ 質問86 家の中にホッとする場所がある



### ■ 質問89 ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、ゲーム機、タブレット、スマートフォン等で、動画を見たり、ゲーム等で遊んだり、SNSをしたりしますか



## ⑥ 交野市教育委員会の取組み

### 改善のための方策

- ◆『交野市学校教育ビジョン』に掲げている4つの施策の柱「情（こころ）の教育を育む学校」「確かな学びが実感できる学校」「組織力の向上と開かれた学校」「学校・家庭・地域の連携と安全な学校」をめざし、以下の取組みを推進します。

#### ① 授業改善の推進

- 学力向上担当者会等で、本調査や全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえ、今年度の結果から明らかになった課題や学力の改善状況等を共有し、各校の状況に応じた授業改善の取組みを支援します。
- 探究型授業の充実のため、市の事業である「小・中学校学力充実支援事業」において先進的に取り組んでいる地域への教員視察を実施します。
- 各小学校においては、提供された自校の調査結果を基に、課題が見られた問題は再度学習を重ね、「小学校定期テスト」等を活用し到達度等を見取っていくことで、授業改善サイクルを確立します。
- 中学校フォロー支援員の配置により、中学校教員と小学校教員の連携を推進します。
- 各学園（中学校区）の拡大学年会や教科会に対して指導主事が助言します。
- 経験の浅い教員に対するサポートや授業充実支援等に引き続き元学校管理職を活用します。

#### ② 言語活用力の向上

- 国語科を中心に全ての教科において、明らかになった課題を身に着けるために適した言語活動を設定し、系統性を意識した螺旋的・反復的な学習により、定着を図ります。
- タブレット端末を有効に活用し、他者と交流しながら児童・生徒自身が主体的に学び合う授業を推進します。
- 子どもが本に親しむ機会を増やし言語活用力を向上させるため、学びあいサポーターや図書アドバイザーを派遣し、授業で学校図書館を積極的に活用し、調べ学習や読書習慣の定着を図ります。

#### ③ 学校・家庭・地域の連携

- タブレット端末を活用した家庭等での自学自習や児童・生徒一人ひとりにあった個別に最適化された学びの在り方について研究します。また、アンケート結果で明らかになった課題についても、保護者と連携し状況の改善を図ります。
- 各学園で共有している「家庭学習の手引き」を活用し、教育課程の実施にあたり地域の人的・物的資源を活用するなど、地域の方々や施設の協力を得た学習活動の推進を図り、子どもが自ら進んで学ぶ態度を醸成します。